平 成 30 年 度 事 業 報 告 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

NPO法人　School Green Japan

平成30年度　事業報告書
報告書目次

1.表紙
2.目次
3.事業概要
　1.事業の活動について
　　【校園庭、公共施設緑化事業】
　　　【芝生化事業】「自然保護活動」
　　【地域コミュニティマネジメント事業】
　　　「防災教育事業」H30年度えひめボランティア支援事業　愛ウェーブ2018
　　　「ジュニア防災プロジェクト」
　　【スポーツクラブマネジメント事業】
　　　「障がい者スポーツ支援活動」

　2.助成事業報告
　　※平成30年度愛媛県NPO法人活動助成事業
　　※平成30年度愛媛県障がい者スポーツイベント開催支援事業
　　「障がい者とスポーツを通じた共生社会創生事業・エンジョイパラスポーツ2019」
　　　実施プログラム1～4の報告
　　　評価報告（インパクトレポート）、事業評価、　活動評価、まとめ

　3.事業の実施に関する事項
　　　特定非営利活動に係る事業

　4.会計報告
　　財産目録、貸借対照表、活動計算書

　5.その他
　　前事業年度の役員名簿、社員のうち10人以上の名簿、役員名簿

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

NPO法人
School Green Japan

NPO法人　School Green Japanは、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度事業報告をいたします。

本年度は、NPO法人設立8年目となり、10年の節目まであと2年と、ポイントとなる事業年度であり団体の活動を安定かつ充実したものになるように事業を展開致しました。

前年度の活動内容を踏まえ、継続事業として、防災教育「ジュニア Bousai プロジェクト」をえひめボランティア助成事業として実施し、障がい者スポーツ支援活動として、「障がい者とスポーツを通じた共生社会創生事業・エンジョイパラスポーツ2018」と題し、愛媛県障がい者スポーツイベント開催支援助成事業、愛媛県NPO法人活動助成事業の2事業を実施致しました。

プログラムを実施するにあたり、多くの関係者の皆様にご協力ご支援等をいただき、本当に感謝しており、あらためてお礼申し上げます。当事業は、継続事業とし次年度も取組むこととし、プログラム内容をブラッシュアップして実施致します。

本年度は、自主事業として、「防災教育事業」に加え、「障がい者スポーツ支援事業」にも積極的に取組みました。特に障がい者スポーツ支援事業では、障がい者をスポーツだけではなく、生活の質の向上（QOL）、人生（ライフ）にも関係した取組が必要で、それをマルチステークホルダーがいかに連携できるかが、重要なポイントであることを活動を通じて再認識し、「えひめ障がい者スポーツ研究会」を情報共有・交換、ネットワークの「場」として開催しています。この会を通じて、ステークホルダーの活動支援、協働、スキルアップ等を目指し、愛媛の障がい者スポーツと障がい者を取り巻く環境改善､活動の活性化､共生社会の構築に繋がればと思っています。

2019年は、東京2020オリンピック・パラリンピック開催まであと一年となり、日本のスポーツ界にとってBIGイベントが待っています。これが、日本のスポーツ (障がい者スポーツも含む) ターニングポイントになることは間違いなく、この後にどのような活動をするのかが、スポーツが地域づくりに役立つために重要なことだと思っています。スポーツで地域づくりができる団体として、今後も活動していきます。

校園庭、公共施設緑化事業では、「芝生化事業」の継続支援として大護学園の園庭芝生管理事業を実施しました。前年度の拡張工事も無事完了し、芝生広場以外の緑化にも取り組み、子どもたちの活動範囲が広がると共に、樹木・畑も増えました。今後は、敷地内の里山づくりに取り組んでいく予定です。森林整備等の作業では、NPO 由良野の森さんと協働して積極的に取り組む予定です。新規の芝生化にも継続的に取り組んでおり、次年度は、是非実施していきたいと現在調整中です。この事業内で、新たに「自然環境保全活動」に取り組んでいけるように現在策定中で、森林・里山保全、海洋保全活動を考えています。

地域コミュニティマネジメント事業では、「防災教育事業」として、えひめボランティア支援事業、愛ウェーブ 2018 として～生きる力を育む防災教育～「ジュニア防災プロジェクト」を防

災教育として前年に引き続き、幼稚園での啓発活動、「防災ハンドブック」の配布を実施致しました。「子育て支援」として、一般社団法人　日本コミュニティ協会との協働プログラムとして、「おかっちボールコミュニケーション」を前年度に引き続き実施致しました。次年度も子育て支援活動として実施していく予定です。本年度は、ボランティア活動を拡大、深化すらために、ボランティアの環境づくりに取り組みました。日本スポーツボランティアネットワークのスポーツボランティアの資格取得、スポーツ大会・イベントへのボランティア参加を実施し、ボランティア育成事業の策定に取り組んでいます。

スポーツクラブマネジメント事業では、「総合型地域スポーツクラブ」「スポーツクラブ」の設立・自立支援を今年度も実施致しました。「障がい者スポーツ支援」としては、「障がい者とスポーツを通じた共生社会創生事業・エンジョイパラスポーツ 2018」を平成 30 年度愛媛県 NPO 法人活動助成事業、平成 30 年度愛媛県障がい者スポーツイベント開催支援助成事業の 2 事業、「セミナー＆体験会」として、4 回実施しました。人材育成として、会員の障がい者スポーツ指導員、スポーツボランティアの資格取得にも取り組みました。タンデム自転車 NON ちゃん倶楽部さん、NPO パラワクさんの活動支援も実施し、障がい者支援活動のネットワークづくりとして、「えひめ障がい者スポーツ研究会」を毎月開催し、マルチステークホルダーとの連携、プラットフォーム等の「場」としての役割を担う活動を継続して実施していきます。次年度は、障がい者スポーツ支援として、エンジョイパラスポーツ 2019 を実施し、普及と振興を目指し、マルチステークホルダーと連携し、具体的に課題や活動支援に取り組んでいきます。

【次年度の活動について】

今後も社会に貢献できる活動を目指し、より多角的に人、組織、団体、地域とも協働し、より安定した事業活動をおこなっていき、特に財務体制の強化をはかるべく、正会員、賛同会員、寄付・、支援者、企業等と連携し活動していきます。又、事務的な業務も改善し効率化をしていき各事業を安定期へと展開できるようにしていきます。継続事業は活動内容をブラッシュアップさせ、新規事業にも取り組んでいきます。

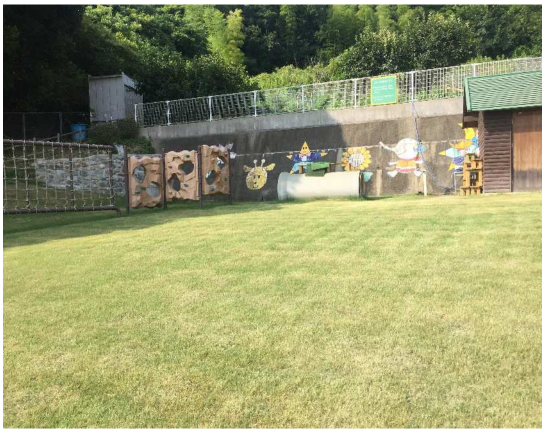
1　事業の成果

【校園庭、公共施設緑化事業】

「芝生化事業」幼稚園、保育園、公園、コミュニティ・スポーツ施設を中心に芝生管理事業についての支援活動を実施。

【芝生化事業】

【写真-1 大護幼稚園　園庭】



【写真-2 大護幼稚園　園庭】

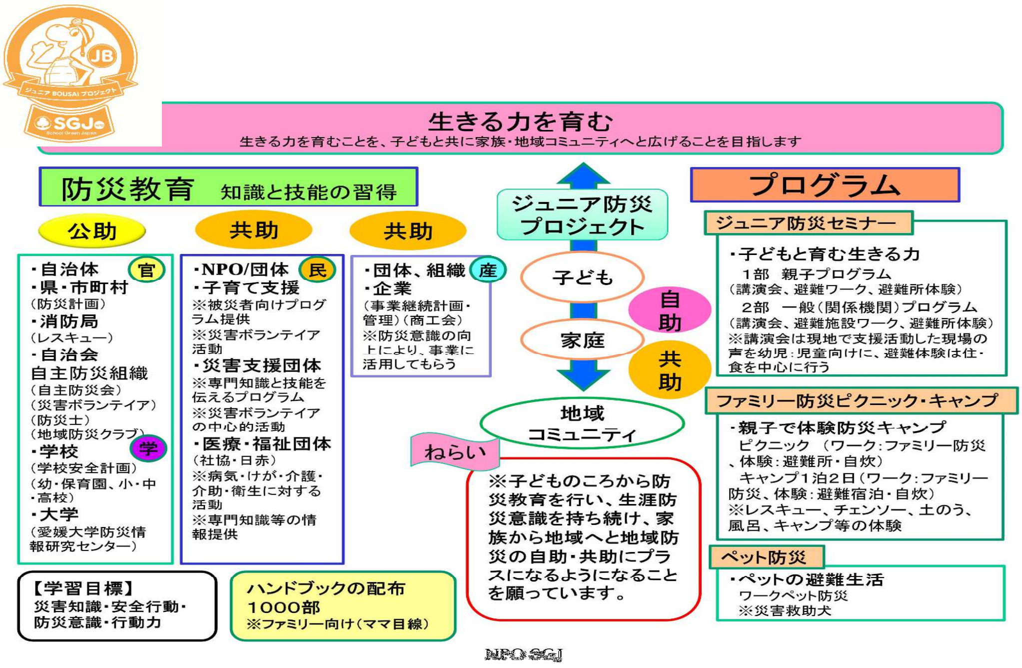
「自然保護活動」森林整備、樹木整備等の作業を実施。

【写真-3 由良野の森　苗づくり】

【写真-4 由良野の森　苗づくり】

【地域コミュニティマネジメント事業】

「防災教育事業」H30 年度えひめボランティア支援事業　愛ウェーブ 2018 の補助事業として「ジュニア防災プロジェクト」を実施。



【写真-5　ジュニア Bousai プロジェクト】

【写真-6　ジュニア Bousai プロジェクト　】

【写真-7　ジュニア Bousai プロジェクト】

【写真-8　ジュニア Bousai プロジェクト　】

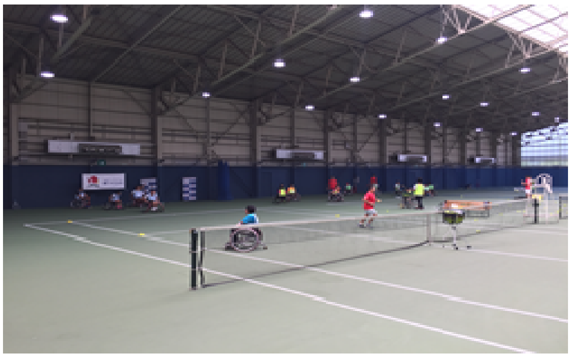
「子育て支援活動」おかっちボールコミュニケーションを実施。

【写真-9 おかっちボールコミュニケーション】

「熱中症対策活動」「熱中症声かけプロジェクト」を実施。
今年度も啓発活動をイベント・スポーツ大会等で実施
「地球温暖化対策活動」「COOL　CHOICE」「Fun to Share」推進活動を実施。
今年度も啓発活動をパンフレット等に掲載。

COOL CHOICE 未来のために、いま選ぼう。

【スポーツクラブマネジメント事業】
「障がい者スポーツ支援活動」



【写真-10　11　JWTA 車いすテニス研修会・大阪（研修）】

【写真-12　13　タンデム自転車 NON ちゃん倶楽部・松山（ボランティア）】

【写真-14　15　JIFF インクルーシブフットボールフェスタ 2018・東京（ボランティア）】

【写真-16　17 スナッグゴルフ体験会・今治（ボランティア）】

【写真-18　19　ブラインドサッカーワールドグランプリ 2019・東京（ボランティア)】

2　助成事業

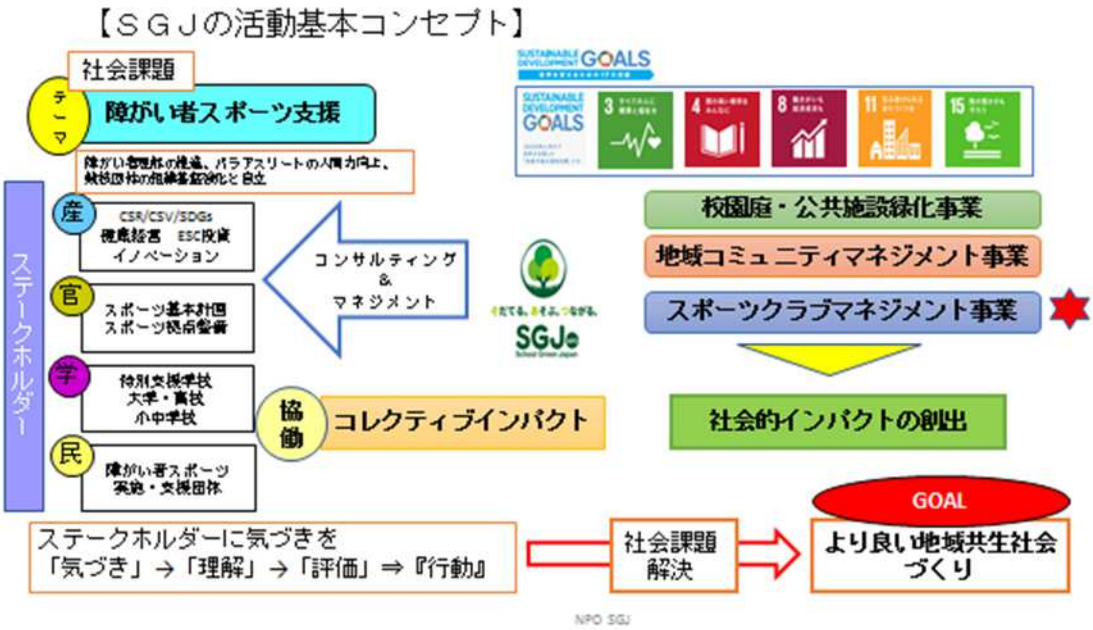
「障がい者とスポーツを通じた共生社会創生事業・エンジョイパラスポーツ 2019」を
平成 30 年度愛媛県 NPO 法人活動助成事業助成事業、平成 30 年度愛媛県障がい者スポーツイベント開催支援事業として実施しました。

【事業概要】

（目的）

・地域社会において、さまざまな社会的課題に取り組む手段としてスポーツを核にした活動を実施し、個性を尊重した共生社会づくりを目指す事業です。

・障がい者の生活の質（ＱＯＬ）の向上をスポーツを通じて取り組む。
（スポーツ実施率の向上）
・さまざまなステークホルダーが連携・協力して取り組みを推進する。
（協働・コレクティブインパクト・WG）
・障がい者と健常者が互いを理解した「共生社会づくり」に取り組む。
（障がい者スポーツセミナー・パラスポーツジュニアプログラム・パラスポチャレンジプログラム）
・障がい者の社会環境改善への取り組みを推進する。
（スポーツ施設・スポーツコンテンツの提供・人材育成・スポーツクラブとの連携・教育プログラム）



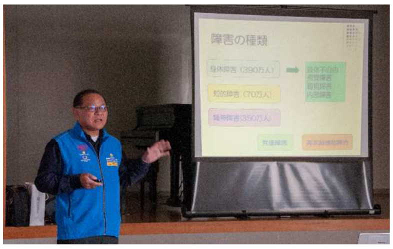
（実施プログラム）

・障がい者スポーツセミナー＆体験会「エンジョイパラスポーツ 2018」

・セミナー＆障がい者サッカー体験会（ブラインドサッカー）10 月 20 日（土）
セミナー「スポーツボランティア・障がい者スポーツについて」

・セミナー＆車いすツインバスケットボール体験会　11 月 24 日（土）
セミナー「障がい者スポーツについて」

【実施プログラム１】

タイトル	セミナー＆障がい者サッカー体験会（ブラインドサッカー）
日時・場所	平成 30 年 10 月 20 日（土）12:30～15：00　松山市青少年センター
参加者	スタッフ 5 名　講師 2 名　一般参加者 15 名
内　容	（セミナー）「スポーツボランティア・障がい者スポーツについて」 講師　愛媛大学　社会共創学部　地域資源マネジメント学科 山中　亮　准教授 ・「スポーツにおけるボランティア」と題し、スポーツへの関わり方について講演をしていただきました。「ボランティアとは」「スポーツボランティアの楽しみ方」「ボランティア活動の事例」「障がいのある人のスポーツ」「日本スポーツボランティアネットワークの活動について」などについて、アイスブレイク等も織り交ぜられ、リラックスした楽しい内容でした。 講師　愛媛県パラスポーツ・コーディネーター　幸田　裕司 ・「障がい者スポーツの現状」「障がい者」をキーワードに特に障がいに対する考え方等について、楽しい話術で笑いの絶えない、そして障がいについてにの気づきがある内容でした。  （セミナーについて） 講演内容が、障がい者スポーツ、スポーツボランティアの実践者からの話であり、障がい者スポーツ・スポーツボランティア等に取組んでいる人も、いない方にも、現状や定義的なことが、リラックスした雰囲気で楽しみながら受講できたことが、

<table>
<tr><td></td><td>とても良い内容で期待通りでした。

（体験会）ブラインドサッカー
講師　NPO　SGJ　　三上　伸人　（障がい者スポーツ指導員）
・参加者は、全員ブラインドサッカー未経験者でしたが、サュカー経験者が多く、ボールの扱い、体の動き等、予想以上だったので、プログラムがスムーズに実施されました。笑いの絶えない楽しい時間となり、スポーツをしたことのない方からは、「みんな優しく楽しかった」と好評でした。

</td></tr>
<tr><td>協力・支援</td><td>講師　山中　亮（愛媛大学）、幸田　裕司（愛媛県障がい者スポーツ協会）
えひめ I select　（知的障がい者サッカークラブ）
日本ブラインドサッカー協会、（一社）日本障がい者サッカー連盟</td></tr>
</table>

【実施プログラム２　】

タイトル	セミナー＆車いすテニス体験会
日時・場所	平成 30 年 10 月 21 日（日）　9:30～12:00 愛媛県総合運動公園　（テニスコート）
参加者	スタッフ５名　講師４名　一般参加者５名
内　容	（セミナー）「障がい者スポーツの現状とこれから」 講師　愛媛大学　社会共創学部　地域資源マネジメント学科 スポーツ健康マネジメントコース　牛山　眞貴子　教授 ・障がい者の支援活動として、ダンスを通じたものや、健康ウォーキングなどを学生達と取組んだ事例から、障がい者の生活における健康づくりに、動くこと⇒運動⇒スポーツの必要と継続することが重要とのお話をダンスの先生らしく体を動かしながらの笑顔の絶えない講座でした。 講師　愛媛県パラスポーツ・コーディネーター　幸田　裕司 ・「障がい者スポーツの現状」「障がい者」をキーワードに特に障がいに対する考え方等について、楽しい話術で笑いの絶えない、そして障がいについてにの気づきがある内容でした。 （セミナーについて） 　講演内容が、障がい者スポーツ、スポーツボランティアの実践者からの話であり、障がい者スポーツ・スポーツボランティア等に取組んでいる人も、いない方にも、現状や定義的なことが、リラックスした雰囲気で楽しみながら受講できたことが、とても良い内容で期待通りでした。

	（体験会）車いすテニス 講師　村野　太一さん他３名　　（愛媛県車いすテニス協会） 白谷　健治（障がい者スポーツ指導員） ・参加者は、全員車いすテニス未経験者でしたが、テニス経験者が多く、ボールの打ち方、体の動き等、予想以上で、前半は車いすの操作に苦戦していましたが、後半はナイスショットもあり、楽しい時間となり、「もっとやりたい」と好評でした。
協力・支援	講師　牛山　眞貴子（愛媛大学）、幸田　裕司（愛媛県障がい者スポーツ協会） 愛媛県車いすテニス協会、白谷　健治（障がい者スポーツ指導員）

【実施プログラム３　】

タイトル	セミナー＆車いすスポーツ体験会
日時・場所	平成 30 年 11 月 10 日（土）9:30～12:00　 松山市青少年センター
参加者	スタッフ５名　パネラー４名　一般参加者 13 名
内容	（パネルディスカッション）「障がい者スポーツの現状とこれから」 パネラー　村野　太一（愛媛県車いすテニス協会）和泉　幸治（愛媛エンジェルス）川崎　壽洋（NPO パラワク）進行　三上　伸人（NPO　SGJ） ・障がい者スポーツのプレーヤーの村野、和泉さんからは、現状と課題についてのお話をしていただき、活動の支援者と資金不足が課題であること、障がい者の就労支援事業所運営と、自らも障がい者の川崎さんからは、障がい者にとってスポーツの必要性や支援の重要性について意見を述べて頂き、改めて障がい者の支援を、スポーツからでもできることを認識できました。参加者の中からもご意見をいただき、違う立場からの考え、思いをお話ししてもらい、改めて支援の仕方について課題が多いことがわかり、今後の取組に役立ていくことが認識できた内容でした。 （体験会）車いすスポーツ インストラクター　三上　伸人（障がい者スポーツ指導員）平野　達哉（合同会社ラフィット） ・車いすスポーツ経験者と未経験者とが一緒に、前半はチェアワークを中心に、後半は、ボールを使った動きをグループに分かれて実施し、笑顔の絶えない楽しい時

	間となりました。

【実施プログラム４　】

タイトル	セミナー＆車いすツインバスケットボール体験会
日時・場所	平成 30 年 11 月 24 日（土）9:30～12:00　　今治市営中央体育館
参加者	スタッフ５名　講師１名　一般参加者５名
内容	（セミナー）「障がい者スポーツについて」 講師　愛媛大学　社会共創学部　地域資源マネジメント学科 スポーツ健康マネジメントコース　牛山　眞貴子　教授 ・障がい者の支援活動として、ダンスを通じたものや、健康ウォーキングなどを学生達と取組んだ事例から、障がい者の生活における健康づくりに、動くこと⇒運動⇒スポーツの必要と継続することが重要とのお話をダンスの先生らしく体を動かしながらの笑顔の絶えない講座でした。 （体験会）車いすツインバスケットボール（愛媛エンジェルス） 講師　愛媛エンジェルス ・車いすスポーツ経験者と未経験者が半々で、前半はチェアワークを中心に、 後半は、ボールを使った動きと、シュートにチャレンジしてみました。 スポーツ経験者が多く、上達も早く次々に課題をクリアーしていました。
協力	講師　牛山　眞貴子（愛媛大学） 特定非営利活動法人　今治しまなみスポーツクラブ（総合型地域 SC） サン・アビリティーズ今治、　愛媛エンジェルス（車いすツインバスケ）

【評価報告（インパクトレポート）】

（事業目標）

・障がい者スポーツを通じて、障がい者の支援を多種多様なステークホルダーが連携して取り組み共生社会づくりを目指す。

（ロジックモデル）

資源	活動	直接の結果	初期成果	中期成果	長期成果
・人的資源 運営スタッフ 指導者（障がい者スポーツ指導員） 専門家（講師・インストラクター） ボランティアスタッフ 支援者ネットワ	障がい者スポーツのセミナー・体験会の実施	・セミナー、体験会 開催回数 参加人数 支援者人数 （スタッフ・講師・ボランティア）	障がい者スポーツに関心が持てた また参加したいと思う（参加者・支援者）	障がい者スポーツに係る人が増える（プレイヤー・支援者） スポーツチーム・クラブの運営（環境整備） スポーツ実施率向上	障がい者と一般人がスポーツを一緒に楽しむことができる （見る・する・ささえる）
・物的資源 用具 運営・企画ノウハウ 他の団体・組織と連携・協働 ・資金的資源 補助・助成金、寄附、協賛金	ステークホルダーへの支援・協力要請	・ステークホルダー数 打合せ回数 （産・官・学・民）	ステークホルダーとの連携 ・協働（ワーキング・研究会）	ステークホルダーの増加（企業・団体・支援者）	スポーツクラブの安定運営、地域コミュニティ拠点
・情報的資源 情報収集・メディア・SNS 発信	障がい者スポーツの情報発信・広報	・宣伝・広報 メディア掲載数、チラシ配布部数、情報誌等の掲載、SNS 掲載数	協賛・協力企業、団体の意識が向上した	障がい者スポーツの情報ポータルサイト設立への取組	障がい者スポーツ情報による活性化が高まる

（事業評価）

事業評価　（達成状況）	総合評価
①　事業の仕組みや体制面での評価　（ストラクチャー）	B1
②　事業の目的・目標の達成に向けた過程や活動状況の評価（プロセス）	B2
③　目的・目標の達成のために行われる事業結果（アウトプット）	B2
④　目的・目標の達成度、成果の数値目標に対する評価（アウトカム）	C

※評価方法は、運営スタッフ、支援者、協力関係者への調査から算出

達成状況	評価平均値	評価率（%）	総合評価
達成できた	3	100%	A
ほぼできた	2.6～2.9	99～80	B1
	2.5～2.0	79～50	B2
達成できなかった	1.9～1.0	49%以下	C

※評価率・・・事業ごとに評価し、その平均値を出したもの

達成できた⇒80%以上⇒3　ややできた⇒50%以上⇒2　できなかった⇒50%未満⇒1

（活動評価）

ステークホルダー	できたこと	できなかったこと	改善点
関係組織・団体、個人	事業内容についての説明 県内の２地域（中予・東予）で開催	訪問先数、再訪回数を増やす	組織的活動で訪問回数を増やす 情報発信する
協力・支援者 （講師・専門家）	セミナー・体験会の内容は良かった	開催時間の長さ セミナー・体験会の時間が短かった	プログラム内容の精査、受講者ファーストを忘れずに
障がい者の方	セミナーと体験会で新たな気づきと、一般の方と一緒に楽しみながら体験ができたことが良かった	協力チーム以外の障がい者の参加者増加 障がい者、一般の方との交流	参加募集の活動不足 対象者の絞り込みと関係組織・団体への勧誘 情報発信する
一般の方	セミナーと体験会で新たな気づきと、障がい者の方と一緒に楽しみながら体験ができたことが良かった 体験は初めての方が多数	参加者の増加 体験の時間の長さ 障がい者の方との交流	参加募集の活動不足 対象者の絞り込みと関係組織・団体への勧誘 情報発信する

【まとめ】

今回の事業は、３年計画の初年度であり、目標に対してスタートアップの段階で、基盤構築に向けて、多種多様なステークホルダーにアプローチし、組織・団体、個人等の方針、考え方などを把握することから取り組みました。

活動を進める中で、それぞれの立場、考え・思い等の違いはありますが、皆さん大変な思いをされながら活動されており、改めてこの事業を通じて支援活動を進める意義を感じました。と同時に課題点も多くあり、解決には、時間とコミュニケーション、連携・協働、信頼が必要であると、再認識しました。

事業を進めるにあたり、企画にはありませんでしたが、障がい者スポーツ以外の障がい者支援の団体と連携したり、次年度に向けての取組に向けた活動として、研究会を立ち上げたり、今年度の活動と次

年度に向けての活動を同時進行できたことは、+αの成果であったと思います。
今後の取り組みとして、ステークホルダーとの関係を構築するために、広さ（数）と深さ（信頼）を求め、事業の開発・改善、コレクティブインパクト等を実施し、障がい者の皆さんの考え、思い、環境改善に向けて、スポーツを通じて多くの方と連携・協力して活動を継続していきたいと思います。
具体的には、研究会の開催（情報共有)、障がい者スポーツ関係のポータルサイトの開設（情報発信）イベントとして、セミナー・体験会等を、総合型地域スポーツクラブ、幼稚園、小学校、中学校、自治会等を中心に実施（普及と振興)、障がい者スポーツ団体の支援として大会・イベント運営、マネジメント等（普及と振興）に取組んでいきます。
障がい者スポーツで共生社会づくりの目標に向けて、今後も課題に取組みながら持続可能な活動を、多くの方と協力・協働しながらおこなっていきますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。
最後に、この事業にご支援、ご協力をいただいた多くの方々と、助成事業に採択していただいた愛媛県に、お礼と感謝を申しあげます。

【団体登録】

「東・南海地震対策ネットワーク」参加　平成22年9月16日
「松山市NPO登録」　平成22年10月1日
「松山市地域づくり団体登録」　平成22年10月4日
「東日本大震災がんばろう支援ネットワークまつやま会員登録」　平成23年6月
「熱中症声かけプロジェクト登録」平成24年5月
「Fun to Share」に賛同団体登録」平成27年7月
「松山市ボランティアセンター団体登録」平成28年5月
「あったか愛媛NPO応援基金団体登録」平成30年5月28日
「JFAグラスルーツ推進　賛同パートナー認定　2018年9月5日～

3　事業の実施に関する事項

（1）　特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
校園庭公共施設緑化事業	校庭、園庭の芝生化管理維持	通年	学校法人大護学園	2人×10 合計 20人	幼稚園児	79,777
校園庭公共施設緑化事業	校庭、園庭の芝生化管理維持	通年	愛媛ラボ	1人×4 合計 4人	松山市民、企業 10人	7,500
校園庭公共施設緑化事業		通年	幼稚園 保育園	3人×3 合計 9人	幼児300人	9,000
校園庭公共施設緑化事業	普及・啓発活動 環境緑化活動 （自然保護活動）	通年	久万高原町	2人×5 合計 10人	愛媛県民	24,000
地域コミュニティマネジメント事業	防災教育事業 （ジュニア防災プログラム） H30年度愛媛ボランティア支援事業 愛ウェーブ2018	9/1～3/31	松山市	6人×6 合計 24人	幼児・保護者 幼稚園 50人	100,000
地域コミュニティマネジメント事業	災害支援活動 平成30年豪雨災害支援活動	7/9～10/30	愛媛 西予市 大洲市	2人×5 合計 10人	被災者 200人	110,000
地域コミュニティマネジメント事業	ジュニア防災PJ	通年	松山市	2人×3 合計 6人	松山市民 300人	7,452
スポーツクラブマネジメント事業	障がい者スポーツ支援 （タンデム自転車サポート）	通年	愛媛県	4人×2 合計 8人	愛媛県 障がい者 50人	9,000

スポーツクラブマネジメント事業	障がい者支援（H30年度愛媛県NPO法人活動助成事業・H30年度愛媛県障がい者スポーツ開催支援事業）	8/1〜11/30	愛媛県 松山市 今治市	5人×4 合計 20人	参加者 120人	1,259,850
スポーツクラブマネジメント事業	クラブマネジメント事業（NPO団体）	通年	愛媛県	1人×8 合計 8人	支援団体 100人	60,000
スポーツクラブマネジメント事業	クラブマネジメント事業（障がい者SC・協会等）	随時	東京都 大阪府 愛媛県	1人×8 合計 8人	クラブ50人 イベント 500人	91,000
スポーツクラブマネジメント事業	クラブマネジメント事業（総合型地域SC）	随時	愛媛県	1人×6 合計 6人	クラブスタッフ4人	20,834
管理部門	運営・広報活動（HP,パンフレット）	随時	全国	1人×12 合計 12人	愛媛	100.257

(2)　その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額（千円）
その他、当法人の目的を達成する為の事業	「実施事業なし」				

平成３０年度財産目録

平成３１年３月３１日現在

NPO法人　School　Green　Japan

科　目　・　摘　要	金　額　(単位：円)		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
現金	160,398		
普通預金（伊予銀行本店営業部）	401,229		
流動資産合計		561,627	
2　固定資産			
	0		
固定資産合計		0	
資産合計			561,627
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
流動負債合計			
2　固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			
正味財産			561,627

（備考）

平成３０度貸借対照表

平成３１年　３月３１日現在

NPO 法人　School　Green　Japan

科　目	金　額　（単位：円）		科　目	金　額　（単位：円）	
Ⅰ　資産の部			Ⅱ　負債の部		
1　流動資産			1　流動負債		
現金	160,398			0	
普通預金	401.229				
			流動負債合計		0
流動資産合計		561,627	２　固定負債		
				0	
２　固定資産					
	0				
			固定負債合計		0
			負債合計		0
			Ⅲ　正味財産の部		
固定資産合計		0	前期繰越正味財産	53,417	
			当期正味財産 増加額（減少額）	508,210	
			正味財産合計		561,627
資産合計		561,627	負債及び正味財産 合計		561,627

平成３０年度　活動計算書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

NPO法人　School Green Japan

科　　　目	金　　額　(単位：円)		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員受取会費	60,000		
賛助会員受取会費	73,000		
受取会費計		133,000	
2　事業収益			
校園庭公共施設緑化事業収益	38,880		
地域コミュニティマネジメント事業収益	0		
スポーツクラブマネジメント事業収益	0		
受取利息	0		
事業収益計		38,880	
3　受取助成金			
助成金	975,000		
受取助成金計		975,000	
4　受取寄付金			
寄付金	440,000		
受取寄付金計		440,000	
経常収益計			2,386,880
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費			
臨時雇用賃金	816,400		
福利厚生費	4,074		
人件費計		820,474	
(2)その他経費			
外注費	351,000		
旅費交通費	141,500		
宣伝広告費	47,174		
事務用品消耗品費	5,939		
備品消耗品費	279,363		
荷造運賃	4,700		
保険料	3,400		
支払手数料	2,916		
雑費	121,942		
その他経費計		957,939	
事業費計			1,778,413

２　管理費			
(1)人件費			
臨時雇用賃金	27,000		
人件費計		27,000	
(2)その他経費			
通信費	33,534		
宣伝広告費	11,795		
事務用品消耗品費	8,507		
諸会費	14,240		
支払手数料	648		
雑費	4,533		
その他経費計		73,257	
管理費計			100,257
経常費用計			1,878,670
当期経常増減額			
当期正味財産増減額			508,210
前期繰越正味財産額			53,417
次期繰越正味財産額			561,627

※　今年度はその他の事業を実施していません。

※　計算書類の注記

重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日　2011年11月20日一部改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。

前事業年度の役員名簿

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

NPO 法人　School　Green　Japan

役職名	氏　名	住 所 又 は 居 所	就任期間	報酬の有・無
理事長	三上　伸人	愛媛県松山市緑町 1 丁目 2 番地 11	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日	報酬・無
理事	堺　　賢治	愛媛県松山市鷹子町 1000 番地 14	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 30 年 6 月 8 日	報酬・無
理事	白谷　健治	愛媛県松山市井門町 1006-1	平成 30 年 6 月 9 日から 平成 31 年 3 月 31 日	報酬・無
理事	高山　定也	静岡県静岡市清水区大沢町 1 番 18 号	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日	報酬・無
理事	筒井　　子	愛媛県伊予市上野 1687 番地	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日	報酬・無
理事	林　　賢一	愛媛県松山市衣山 5 丁目 16 番地 9	平成 30 年 6 月 9 日から 平成 31 年 3 月 31 日	報酬・無
監事	新谷　寛	愛媛県松山市南吉田町 502 番地	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 30 年 6 月 8 日	報酬・無
監事	白谷　恵子	愛媛県松山市井戸町 1006-1	平成 30 年 6 月 9 日から 平成 31 年 3 月 31 日	報酬・無

（備考）

社員のうち１０人以上の者の名簿

平成３１年3月３１日現在

NPO 法人　School　Green　Japan

氏　名	住　所　又　は　居　所
三上　伸人	愛媛県松山市緑町 1 丁目 2 番地 11
仙波　得伸	愛媛県松山市畑寺町乙 16 番地
高山　定也	静岡県静岡市清水区大沢町 1 番 18 号
筒井　　子	愛媛県伊予市上野 1687 番地
真下　真一	東京都八王子市南陽台 3 丁目 16 番地 2
白谷　健治	愛媛県松山市井門町 1006-1
白谷　恵子	愛媛県松山市井門町 1006-1
林　　賢一	愛媛県松山市衣山 5 丁目 16-9
森　　勇	愛媛県松山市南久米町 171-1 グランフィル久米西 402 号
筒井　和貴	愛媛県伊予市上野 1687 番地
真下　妃呂美	東京都八王子市南陽台 3 丁目 16 番地 2
及川　浩二	静岡県静岡市駿河区下島 137-7
成宮　健志	京都府京都市右京区太秦多藪町 14-209

（備考）

役員名簿

平成３１年３月３１日現在

NPO 法人　School　Green　Japan

役職名	氏　名	住 所 又 は 居 所	報酬の有・無	
理事長	三上　伸人	愛媛県松山市緑町１丁目２番地 11	報酬　・無	
理事	白谷　健治	愛媛県松山市井門町 1006-1	報酬　・無	
理事	高山　定也	静岡県静岡市清水区大沢町１番 18 号	報酬　・無	
理事	筒井　　子	愛媛県伊予市上野 1687 番地	報酬　・無	
理事	林　　賢一	愛媛県松山市衣山５丁目 16 番地９	報酬　・無	
監事	白谷　恵子	愛媛県松山市井門町 1006-1	報酬　・無	